

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	人間発達学部		
科目名称 [英語名称]	化学の基礎 [Fundamentals of Chemistry]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	
科目コード	130610	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1-4年次
教員氏名	森 寛			学位授与の方針 との関連	DP 1(1)、2(2)、3(4)		
授業概要	本講義は小さな原子や分子の世界である化学の基礎を学び、定量的な計算ができることを目的とする。化学の基礎がわかることによって、化学の応用にもつながる。内容としては、高校で化学を履修していない人もいるので、高校で習う化学を主として講義する。授業で学んだ内容を、授業で学習する内容の問題を解いてもらい、理解を深め、知識を定着する						
関連する科目	化学の世界						
授業の進め方と方法	講義を主として授業を進めていく。受講する学生には、授業に関連する問題を解いてもらい、授業の終了後に提出してもらう。						
授業計画	1回目講義 「混合物の分離と精製」 2回目講義 「原子の構造」 3回目講義 「電子配置と周期表」 4回目講義 「イオンの形成とイオン結合」 5回目講義 「イオン結晶、共有結合」 6回目講義 「結晶の種類」 7回目講義 「原子量」 8回目講義 「物質質量」 9回目講義 「溶液の濃度」 10回目講義 「化学反応式」 11回目講義 「化学反応式の量的関係」 12回目講義 「酸と塩基」 13回目講義 「酸化と還元(1)」 14回目講義 「酸化と還元(2)」 15回目講義 「化学の基礎のまとめ」						
授業の到達目標	化学の基礎が理解でき、化学の計算問題が解けることができること。						
授業時間外の学修	授業の最後に行う問題で理解できないことがあれば、次の授業までにわかるようにしてここと。 授業で学んだ内容を振り返り、復習すること。 問題のプリントを振り返り、要点を整理しておくこと。						
課題に対する フィードバック	授業中に解いてもらう問題は、次の授業で解説する。	評価方法		試験(70%)、および授業中の問題の提出(30%)による評価とする。			
テキスト	スクエア最新図説化学・八訂版(第一学習社)、講義毎に問題プリントを配布する。						
参考書	高校の化学基礎の教科書						
備考							